

# クロストリジウム腸炎の新しい 治療薬ダフクリア

アステラス製薬は、クロストリジウム腸炎の新しい治療薬；ダフクリア錠（一般名：フィダキソマイシン）を発売しました。

**ダフクリア<sup>®</sup>錠200mg**

**Dafclir<sup>®</sup> Tablets 200mg**

適応はクロストリジウム・ディフィシル（以下、CD）に起因する感染性腸炎。薬価は200mg 1錠 3943.80円（1日薬価：7887.60円）。

国内ではメトロニダゾール、バンコマイシンといった治療薬がありますが、近年は感受性が低下しているとの報告があり、新たな治療選択肢が求められていました。



ダフクリアは、アステラスが米メルクから導入した新規機序と選択的な抗菌スペクトルを有する経口の大環状抗菌薬。

CDは大腸内部に感染し毒素を産生する細菌で、院内感染や抗菌薬関連腸炎の起因菌として世界的に問題になっています。感染・増殖により大腸炎や重篤な下痢を発症し、最悪の場合は死に至ります。



ダフクリアはCDに対して強い抗菌活性を持つほか、狭域抗菌スペクトラムのため、他の腸内細菌のバランスを攪乱する作用が弱く、芽胞形成を阻害する作用を持ちます。